令和３年度　小布施中学校グランドデザイン

〈学校経営のビジョン〉
誰もが安心して学べる
学級・学校づくり

〈子どもの実態・願い〉
素直で純朴。団結して取り組もうという意識は強く学級・生徒会等での取り組みは積極的である。
ややなれ合い的な雰囲気があり、人間関係が固定的な面がある。
自ら進んで積極的に人と関わり、互いに高め合い、多くの人のために行動できる力を育みたい。

〈教科指導の重点〉

国語：言葉による見方・考え方を働かせ実生活に役立つ力を高める指導
社会：自らの疑問に基づいて課題を設定し解決する力を育む指導
数学：根拠を持って自分の考えを説明できる力をつける指導
理科：自然を主体的に探求するための素材の教材化と学習過程のあり方
音楽：友との関わりの中で音楽を作ること、聴くこと、表現することの楽しさを味わえる指導
美術：自己を問い返し表現主題に迫るための指導
保健体育：友と関わり合って技能を高め運動の楽しさを深めていく指導
技術・家庭：よりよい生活を目指して工夫し創造する資質・能力を育成する指導
英語：英語を通して自己表現力を高める指導

〈総合的な学習の時間重点〉
自ら課題を見つけ、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力、いわゆる「生きる力」を育むことを目指す。
「小布施町に生きる私」の学び
１年：私と人々のつながり
（情報基礎・SDGs）
２年：私のこれからの生き方
（職場体験活動）
３年：私にできることは
（奉仕・貢献・提案）

学校教育目標
「夢・忍耐・思いやり」
豊かな人間性をもち、かけがえのない人生を強く正しく生きぬく生徒の育成
【具体目標】
１　自分の夢をもち、その実現に向かって努力できる生徒
２　自分のわがままをおさえ、正しい判断のできる生徒
３　人のいたみが分かり、思いやりの心をもてる生徒

運営の基本方針

だれもが安心して学べる学級・学校づくり
（「心をよせる教育」）

誰もが安心して学べる授業づくり	誰もが安心して暮らせる健康な心と体づくり	誰もが安心して生活できる環境づくり
学び合い	認め合い	響き合い

ウイズコロナを踏まえた実践（感染対策、逆境を乗り越える）

○新学習指導要領完全実施に伴う、主体的・対話的で深い学びの推進
○ＩＣＴ活用
・課題把握
・思考の共有化
・見える化
・個別最適化
等々・・・
○家庭学習の充実
・授業とリンク
○小中合同による主体的・対話的で深い学びについての研究

○認め合う人間関係づくり、心身の健全育成
・学級活動、道徳教育の充実
・各学年行事（自然体験、修学旅行）
・福祉体験学習
○人権同和教育の推進（人権集会、作文）
○スポーツ障害を防止する、体幹トレーニングの導入
○幼保小中の子どもたちの絆を深める連携活動

○生徒の具体的活動の継承
・清掃
・合唱
・あいさつ
（一人になりきる清掃、歌声と挨拶が響き合う学校）
○一人一人が輝き、学校全体が響き合う鳳凰祭
○地域と響き合う学校づくり
・くりんこ祭り
・小布施見にマラソンボランティア
・千年樹の里ボランティア
・町生徒会資源回収
・小布施掃除に学ぶ感謝の会
○保護者、地域との協働的な連携

地域連携

幼保小中一貫教育

本年度の重点

１ 確かな学力の向上（主体的・対話的で深い学びの実践、ＩＣＴ活用）
⇒　学び合い
２ 思いやりの育成（積極的に他者に関わる力を高める：人権同和教育、学活、道徳）　⇒　認め合い
３ ３本柱【清掃、合唱、あいさつ】の徹底（生徒指導・生徒会）⇒　響き合い

〈学校を取り巻く環境〉
・合併協議に参加せず、県内で最小の町として、「栗と北斎と花の町」の魅力的な町づくりを官民一体と　なってすすめている。
・小布施学園コミュニティースクールを運営している。
・幼保小中一貫教育の取り組みを積極的に行っている。
・豊かな自然と古くから開けた文化の歴史があり、教育資源や教育力に恵まれている。
・交流の町「産み、育てやすい町」

道徳教育の重点
①礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動ができる生徒
②願いを持ち、その実現に向かって粘り強くやり抜く生徒
③善悪を自ら判断し誠実に実行し結果に責任を持つことができる生徒
④他の人に対し、感謝と思いやりの心をもった生徒

特別活動の重点
集団活動を通して、仲間との関係を作ったり集団における個のあり方を学んだりしながら、自己決定できる生徒を育成する
＜生徒会活動の三本柱＞
「清掃」「合唱」「あいさつ」

特別支援教育の重点
子どもや保護者の願いをもとに、個々の生徒に応じた適切な教育課程を編成し、その子の可能性を最大限に伸ばし、その子なりの社会自立を目指す指導

人権同和教育の重点
自他の差別を見抜ける指導
①差別や偏見に憤りをもてる指導
②人権問題を自分のこととしてとらえられる指導
③支え合い協力して問題を解決する指導
④自分なりの考えを言葉や文章で表現できる指導

生徒指導の重点
生徒理解を深め、生徒との信頼関係を形成することによって、社会生活において健全な生活を送るとともに、自己実現を目指す生徒の育成

キャリア教育(進路指導)の重点
キャリアパスポート等を活用して、幼保小中一貫した発展的継続的な指導を、生徒・保護者・学校が一体となって行う。

学び合い	①日々の授業実践（主体的・対話的で深い学び、家庭学習の充実） ②ＩＣＴ活用研修、実践（全職員で学び合う） ③幼保・小の子どもの学ぶ姿から学ぶ
認め合い	①学級・学年による人間関係作りの実践（学活、ＱＵ等） ②道徳教育の実践（考える道徳） ③人権同和教育の実践（人権同和月間、人権講演会、人権作文等） ④部活動の実践（指針に基づいた健全な運営） ⑤体幹トレーニングの導入（部活動、授業） ⑥幼保小中の認め合い（生徒会、家庭科授業等）
響き合い	①生徒会活動の自治と奉仕の実践（三本柱、先輩から後輩への自治的活動） ②鳳凰祭の運営（一人一人が輝き、全体が響き合う） ③地域との連携（くりん子祭り、見にマラソン、千年樹の里ボランティア、資源回収、掃除に学ぶ会等）

P　計画
D　実践
C　評価
A　改善
評価結果に基づいた改善

①学力評価
全国学力テスト（３年：結果８月）、ベネッセ検査（１、２年：結果５月）、定期テスト等（全学年：各学期、各単元等）
②授業評価
授業研究会・見合う授業（参観日に実施）、教科内授業・学年内授業（都度）、生徒によるアンケート評価（７月、１２月）
③学校評価
職員による学校自己評価（１２月）、保護者によるアンケート評価（１２月）
ＣＳ運営委員会による評価（３月）
④日常的な保護者・地域住民の声
学級・学年懇談会、電話・手紙等による地域の方の声
⑤幼保小中一貫教育評価
各部会や推進委員会での協議